

発行:日本司法書士政治連盟

発行人:田嶋規由 編集人:安井 利国

ホームページアドレス:<http://www.ns-seiren.net/>

メールアドレス :office@ns-seiren.net

〒160-0003 東京都新宿区本塩町 9 番地 3

TEL03-3359-0498 fax03-5366-5310

★ 詳細の情報は homepage をご覧ください

★ 速報のため、変更される可能性があります

【日司政連からのお願い】 政連会費をより有効に活用したい。 ⇒ そこで、皆様のメールアドレスを各单位司政連へご連絡ください。

塩崎恭久衆議院議員のご尊父塩崎潤先生がご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。塩崎潤先生は、日本司法書士制度推進議員連盟発足時より司法書士の制度にご理解を頂き、制度改革の大きな支柱としてご尽力いただきました。また、塩崎恭久先生は、議員連盟幹事長として司法制度改革の激流を全国の議員の先生を見事に纏め上げ、現在の司法書士制度の充実と発展の礎を築いていただきました。我々は、塩崎先生の親子二代に及ぶご尽力に感謝申し上げます次第です。

塩崎潤先生のご逝去に対し、当政治連盟元会長樋口庫造先生が哀悼の辞をお送りいただきました。樋口庫造先生は、日本司法書士政治連盟会長を歴任され、現在に至るまで司法書士制度をこよなく愛され、時には大変心配され、貴重なご意見を事ある毎に頂いております。日本司法書士政治連盟が結成され41年が経過しました。政治連盟結成の趣旨と意義がいまこそ見直される時に来ていると、感じざるを得ません。樋口先生の司法書士政治連盟に対する歴史的教訓とご意見に心より感謝申し上げます次第です。

幹事長 安井 利国

塩崎潤先生を悼む

元日司政連会長 樋口 庫造

司法書士制度の充実発展のためにご尽力された司法書士制度推進議員連盟の元衆議院議員、塩崎潤先生が平成23年5月27日ご逝去された。(享年93歳)

突然の訃報に青天の霹靂そして巨星陥つとまことに痛恨の極みであります。

塩崎潤先生の長い間のご指導、ご鞭撻、ご苦勞により司法書士制度が今日の発展を見るに至りましたことに対し、心から感謝と敬意を申し上げ謹んで哀悼の意を表する次第であります。

平成23年6月3日自由民主党と塩崎家合同葬儀告別式が東京港区増上寺の光摂殿において、午前10時30分から行われ、葬儀委員長は自由民主党総裁 谷垣禎一氏、喪主 塩崎恭久氏で執り行われました。

谷垣禎一総裁の弔辞、ご挨拶、外に2名の弔辞、喪主 塩崎恭久先生のご挨拶があった。

日本司法書士会連合会は細田長司会長、齋木賢二副会長、今川嘉典副会長、里村美喜夫専務理事、日本司法書士政治連盟 芝将宏会長代行、安井利国幹事長、渡邊繁俊事務局長、樋口庫造(本人)、猪股秀章会員が参列し、厳肅かつしめやかに執り行われた。

(追悼)

塩崎潤先生は愛媛県出身、温厚、行動力、決断力、税制に精通され、松山中学・松山高校(旧制)、東大法学部卒業、大蔵省に入省、国税庁次長、主税局長を経て、衆議院議員当選、法務政務次官、経済企画庁長官、総務庁長官を務めています。

塩崎潤先生は、大蔵省の課長時代から、登録免許税を担当し、司法書士制度を理解され、司法書士の社会的役割を認識されておりました。

次に日司政連の歴史的経過を述べてみます。

何故、政治連盟ができたのか(行政改革と政治連盟の誕生)

1964年(昭和39年)第一次行政改革の中で太田薫氏(分科会委員長)の太田メモで「司法書士制度というものは廃止の方向で検討すべきである」と発表された。

この「司法書士制度廃止論」と同年有名な「法務省民事局甲第3906号補正通達」の問題が司法書士と司法書士会を直撃し大混乱となり、激動の時代を迎えた。

当時の会の状況ではどうにも反撃力がなく、これを打破するには政治力の結集しかないと決意した。

よって大阪会では昭和40年5月10日に政治連盟結成大会を開催した。

全国では全国会員1万2000名がこの危機的状況の中で澎湃として湧き起る制度防衛の中で、昭和42年7月30日の日司連の第20回定時総会で「司法書士政治連盟全国組織の早期実現化の要望」という緊急動議が可決され、政治連盟を結成しようとする準備委員会を昭和43年10月20日に大阪の山中荘で組織的なことを決定、昭和44年7月13日産経会館で開催された日司連の第22回定時総会のときに政治連盟が結成された。

昭和42年法改正、昭和53年の画期的な法改正があって急速な政治意識の昂揚があり昭和59年4月14日、15日の両日、大阪司法書士会館で第14回日司政連定時大会が開催され白熱の討論が行われ全会一致で「司法書士制度推進議員連盟」の結成が承認され、「議員連盟結成宣言」の採択承認を見たことは司法書士制度発展の歴史の幕開けともいえるべきでありましょう。

この定時大会にも塩崎潤先生、加藤武徳先生（故人）が臨席され、激励されたことも忘れてはならない。

さらに昭和59年11月13日東京、帝国ホテルにおいて司法書士制度推進議員連盟結成大会が開催され全国各地から参集した750余名の会員のもと空前の大政治集会となった。

そしてこの時も、ご多忙のなか、塩崎潤先生および加藤武徳先生（故人）が力量を発揮されその先頭となり会長の人選、野党の代表者の選任、議案審議等ご指導をいただき歴史的な大改革を実現いたしました。

さらに、平成2年11月8日東京・赤坂プリンスホテルにおいて司法書士制度推進議員連盟結成5周年、日本司法書士政治連盟結成20周年記念式典があり、制度発展のため感慨無量のものがあります。

日本司法書士政治連盟は第1次臨調「制度廃止論」および「補正通達問題」等を契機に全国会員全員が困苦欠乏に耐え団結し政治力を結集しさまざまな問題と取り組み制度発展のため激動の時代を克服してきました。

塩崎潤先生は初当選が昭和44年12月ですから、日司政連結成の最初からその活動の歴史に参画していただき、親近感を強力にし、さらに昭和52年から昭和53年にかけて法務政務次官を拝命されたことはより一層司法書士制度に確信を持たれたのではないのでしょうか。

塩崎潤先生が税制問題につき精通されているので、自民党税制小委員会（塩崎潤先生が小委員長）で国民の税負担を軽減し司法書士が登録免許税で苦勞しているのを課税価格の割増評価制度の完全撤廃、つまり、租特法第71条廃止（特に法律を大蔵省の頑強な抵抗にもかかわらず「廃止」「2千億減税」）を実現したことは制度有史以来の出来事であり、日本司法書士政治連盟運動史の中で、永遠に記録されるべきである。

司法書士制度推進議員連盟結成により司法書士国家試験制度の確立、自主登録制度の創設、公共嘱託登記の法人化、登記制度の代理権確立、不動産、商業法人登記のコンピュータ化、成年後見制度の確立、司法制度改革による簡易裁判所の代理権の確立等が実現されました。

これは全国会員の血のにじむような努力、先達の士の苦闘の歴史があったからでありましょう。

偉大なる卓越した政治家塩崎潤先生の座右の銘はゲーテの「ファウスト」にある。「人間は努力する間は迷うものだ。しかし、努力するものは必ず報われる」と言われています。私はこの言葉が大好きである。

日本司法書士政治連盟は、ひたすら努力し国民の権利の擁護と全国会員の繁栄と統一と団結を念願とするものです。塩崎潤先生どうか安らかにご永眠ください。日本司法書士政治連盟は先生のご遺志を受け継ぎ司法書士制度の飛躍的發展を願い、深いご冥福を心よりお祈り申し上げ惜別の言葉とさせていただきます。

（元原稿に日司政連事務局によって改行及び一部ゴシックとさせて頂きました。）